

岐阜キリシタン小史(11)―美濃(尾張)キリシタン年表 本能寺の変～江戸時代①―

※この年表は森徳一郎氏著『尾濃切支丹年表』(1935)を基に作成した。右列の日本の主な出来事はこの「小史」の執筆者によるもの。

西暦	和暦	地域区分	キリシタンに関わること	日本の主な出来事
1580	天正8	美濃	岐阜城主織田信忠、教会建築の安土に先んぜられたことを嘆く。 美濃の三分の一の領主が安土でキリスト教の教義を聞く。	
1581	天正9	安土	安土に洋学校が建つ。	
1582	天正10	美濃	大垣にかつて信長の一子を養育したことがある、ジョネという老信徒の家に滞在した宣教師グレゴリヨが200名の信徒に洗礼を授ける。 本能寺の変にあたり、斎藤利堯(としたか)が、岐阜城を占領し、教会を奪い、聖具を焼く。	●本能寺の変、信長・信忠自刃(6.2) ●山崎の戦い ●清須会議
1583	天正11			●賤ヶ岳の戦い
1584	天正12	美濃	秀吉、美濃にキリシタンがいることを黙認。 濃尾のキリシタン、オルガンチノに神父、修道士の派遣を請う。	●小牧長久手の戦い
1585	天正13			●正親町天皇より豊臣秀吉に関白宣下
1587	天正15	京都他	秀吉、パテレン追放令を出し、京阪堺の教会を破却。	●細川玉、改宗する(細川ガラシャ)
1592	文禄元	美濃	中納言織田秀信、岐阜城主となる。	●秀吉、朝鮮出兵 文禄の役1592-93 慶長の役1597-98
1595	文禄4	美濃	織田秀信、受洗。洗礼名パウロ。岐阜に教会堂、病院、孤児院を建て、その維持費も支給した。	
1596	慶長元	長崎	キリシタン信徒26名が長崎にて磔刑となる。うち、尾張出身者あり。	●サン・フェリペ号事件
1598	慶長3	美濃	信徒ら、織田秀信が秀吉の後継者となることを祈る。	●秀吉薨去
1600	慶長5	美濃	宣教師、美濃尾張を歴訪。領地に多くの受洗者あり。岐阜城落城。秀信、高野山に入る。信徒ら失望。大いに痛惜する。	●関ヶ原の戦い ●細川ガラシャ自害
1603	慶長8			●徳川家康に將軍宣下、江戸幕府初代將軍となる
1605	慶長10	美濃	秀信、高野山で薨去。	●徳川秀忠、江戸幕府第二代將軍となる
1606	慶長11	美濃	美濃・十七條(現瑞穂市十七条)の城主稲葉政貞夫妻及びその家臣50名が受洗。 大垣城主・石川康通が受洗。洗礼名フランシスコ。	 現在の大垣城
1607	慶長12	美濃 尾張	石川康通薨去。その室、京都にて信徒の支持者となる。 ある神父(名前不明)が信濃、美濃を巡教。その他、別の神父が助祭とともに美濃・尾張を伝道。さらにまた別の神父が江戸からの帰途、清洲の信徒を訪問。清洲城主・松平忠吉は神父を接待し教会の再建を許可。	